

OUTLINE

1 実施要領

【プロジェクト運営】

- 運営期間 / 平成17年7月1日(金)～12月25日(日)
- 事務局 / GROUND ANGEL in HIROSHIMAの催行及び啓蒙活動を目的に、運営事務局を設置し運営する。

【GROUND ANGELライトアート】

- 予定期間 / 平成17年12月16日(金)～12月25日(日)…10日間
- 会場 / 広島平和記念公園(資料館前広場)
- 実施時間 / 19:00～21:00(月曜日～木曜日)
19:00～22:00(金曜日・土曜日・日曜日)
15分作品をリピートにより展開
- 動員目標 / 期間中延べ約10万人
- 展開イメージ / 石井竜也プロデュースによるPigi投影機の三次元映像と音楽
期間中は平和を祈念した石井竜也制作モニュメントを設置
点灯式…初日(12/16)石井竜也挨拶・ミニイベント 等
消灯式…最終日(12/25)ミニイベント 等
- 関連展開 / 未定

【市民参加の(おりづる)によって完成するオブジェの制作】

- 展示期間 / 平成17年12月16日(金)～12月25日(日)…10日間
- 展示場所 / 広島平和記念公園(資料館前広場)
- 展開イメージ / GROUND ANGELをテーマに、石井竜也がオブジェを制作。オブジェパーツには市民参加によるおりづるを加える予定です。



イメージ:GROUND ANGELライトアート

2 プロジェクトコンセプト

ライトアートパフォーマンスを通して被爆60周年を記念し、次世代へ繋ぐ命の尊厳と平和の希望に対する啓蒙を図る。

- 広島市民及び全世界が「平和」を強く感じ「感動」する、60周年に相応しいプログラムを行う。
- 注目度の高いプログラムを、オピニオンリーダーで催行することにより話題性を惹起する。
- 単発のイベントとしてではなく、60周年を通じた通年展開による意義のあるプログラムを行う。
- 老若男女、幅広い年齢はもちろん、若い世代に対しても平和を考え感動できるプログラムを行う。

EXECUTION

光と音楽が織りなすエンターテインメント

GROUND ANGEL in HIROSHIMA

石井竜也プロデュースによる「GROUND ANGEL in HIROSHIMA」は、広島市の被爆60周年記念事業の一環として「命の尊厳」と「平和への希望」を光と音のページェントで発表するステージです。

平和記念公園資料館前の石畳に投影される映像は、コンピュータ制御の超大型プロジェクタPgi（ピジ）を使用。天空から地上へ舞い降りて祈りを捧げる天使を、三次元ビジュアルでダイナミックに展開、このイベントのための書き下ろし楽曲とともに来場者を幻想の世界に誘いながら、平和の歓び、恒久の願いに浸っていただきます。



イメージ:2004グラウンドエンジェル横浜風景

GROUND ANGELの誕生と来歴

石井竜也プロデュースによるGROUND ANGEL（グラウンドエンジェル）が誕生したきっかけは、2001年9月11日にニューヨークで起きた同時多発テロの悲劇。それまでミュージシャン、映画監督、絵画アーティストとして幅広く活躍していた同氏はこれを強く悼み、「地球上から多くの悲しみや悲しみ、苦しみが一瞬でも無くなると同時に、全世界が平和になってほしい」という願いをライトアートによる表現活動により展開しています。

2002年冬には横浜赤煉瓦倉庫において初のライトアートイベント「GROUND ANGEL」を開催。2003年11月から12月にかけて販売された「GROUND ANGEL」のシングルアルバムも同時に発表し、同年12月のコンサートツアー「TATSUYA ISHII CLASSICAL CONCERT 2003羽音」などを通して平和の願いを訴え続けています。横浜赤煉瓦倉庫でのイベントは、2003年・04年と3年連続して行ってきましたが、本年度は広島被爆60周年という節目に平和記念公園にて開催することとなりました。

年末に広島市が平和大通り周辺で実施している「ドリミネーション」と連動し、広島をあげて取り組む「年末の一大イベント」となります。



イメージ:2004グラウンドエンジェル横浜風景

PRODUCER

1 石井竜也プロフィール

茨城県出身。'85年“米米CLUB”のヴォーカリストとしてデビュー。米米CLUBの楽曲、ステージセット、コスチュームなどを総合的にプロデュースする。'92年、シングル「君がいるだけで」で日本レコード大賞受賞。米米CLUBとして多くのヒット曲をリリースするかたわら映画監督としても活動の場を広げ、'94年「河童」、'96年「ACRI」を公開。'97年の米米CLUB解散後ソロ活動を開始。音楽活動に加えて、「大阪HEP FIVE(商業ビル)」の空間プロデュースや「鈴鹿8時間耐久レース」の総合プロデュース、'05年には愛知万博「愛・地球博」のレギュラープログラム総合プロデューサーを勤める。'97年の「空想美術館」、'99年「EXPO ISHII 1999 '昇展」などの個展も開催。TVやラジオのパーソナリティも務めるなど、多方面に涉ってその才能を発揮。インダストリアル・デザイナーとしてノートパソコンやアクセサリ、食器などのデザインを数多く手掛けるほか、毎回趣向を凝らした全国ツアー、アートパフォーマンス、オーケストラライブなど、その活躍は留まることを知らない。



2 石井竜也からのメッセージ

今回ご提案する「GROUND ANGEL in HIROSHIMA」は、有意義なイベントとして世界に発信されるでしょう。

しかし、私石井竜也の考えるイベントの主旨(目的)は、**若い世代への警告と記憶の保護**です。

60年を経て、減少していく被爆体験の数と一緒に薄れつつある原爆の記憶を「世界の平和」というエネルギーに変えながらインプットしていく作業だと思えます。私を始め、戦争の記憶のない世代が、次なる時代と歴史を創っていく以上、この恐るべき記憶を退化させてはいけないと思うかたわら、平和記念式典のような格式的なものでは、現在の若い世代に「原爆の悲劇」がうまく継承していかないのではという一抹の不安も感じます。まさに、今生きている我々世代がもっと身近にあの悲劇を感じるには、もっと分かり易く、優しい方法で伝達しなければならぬのではないのでしょうか。

そう言った意味から、私は映像と音楽という直接感性に訴えかける方法で『広島悲劇』と『平和恒久』を訴えます。関係者の皆さん、「GROUND ANGEL in HIROSHIMA」を暖かく有意義なイベント作品にすべく、ご協力、ご尽力、ご賛同をお願いします。

石井竜也

WELL STONE VOICE inc

PROJECT STAFF

【平和記念公園ライトアート事業 実行委員長】

野村慶太郎(広島青年会議所理事長)

【平和記念公園ライトアート事業 実行委員】

構成:広島商工会議所・広島青年会議所・
グラウンドエンジェルプロジェクト・
広島観光コンベンションビューロー・広島市

【発起人/グラウンドエンジェルインヒロシマ 運営事務局】

石井竜也(プロデューサー)・小峰剛(株式会社ウエルストーン・ヴォイス)・秋山雅宏(株式会社ウエルストーン・ヴォイス)・
多門和人(株式会社キャンディー・プロモーション)・野中喜雄(株式会社新日放プロデューサー)・香川志帆(株式会社新
日放プロデューサー)・山口賢司(有限会社ミントジャムス)

【後援(申請中含む)】

広島県・広島市・呉市・廿日市市・広島県教育委員会 広島市教育委員会・放送局／新聞各社・中国経済連合会・広島商工会
議所・広島経済同友会・広島経済記者協会・広島県中小企業家同友会・広島商工会連合 会・広島青年会議所 他

【特別後援】

株式会社中国放送〈予定〉

【協賛】

民間企業各社(調整中)

お問い合わせ先

平和記念公園ライトアート事業実行委員会

－ GROUND ANGEL in HIROSHIMA －

広島市中区国泰寺町1丁目6-34 広島市経済局観光コンベンション推進部内

TEL.082-504-2243 FAX.082-504-2253